

No. 9

# バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会  
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井市体育館 Gコート

試合区分: No. 9 成年女子 準決勝

期 日: 2018(H30)年10月3日(水)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30

主審: 平澤 明男(新潟県)

第1副審: 古畑 香子(茨城県)

第2副審: 北沢 あや子(大阪府)



<b>福岡</b> (九州)	○ <b>72</b>	19 — 22 15 — 18 22 — 14 — — — —	● <b>64</b>	<b>愛媛</b> (四国)
-------------------	----------------	--	----------------	-------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	坂口 千晶	15	2	4	1	1	1	1
5		栗原 悠生	—	—	—	—	—	—	—
6	*	藤 紗織	18	0	7	4	2	5	3
7		潮崎 理奈	14	2	2	4	0	2	1
8	*	清本 優菜	3	0	1	1	1	4	0
9		喜多 伊織	0	0	0	0	0	0	0
10		山内 葉月	6	0	2	2	2	4	0
11		瀧口 早希	—	—	—	—	—	—	—
12	*	江口 綺姫	6	2	0	0	0	2	0
13		中野 由希	—	—	—	—	—	—	—
14	*	金本 望	10	0	4	2	2	4	2
15		和田 実凡	—	—	—	—	—	—	—
HC		案浦 知仁 / TEAM	—	—	—	—	—	—	—
		合計	72	6	20	14	8	23	7

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		川端 菜乃里	3	1	0	0	1	1	1
5		濱田 真子	3	1	0	0	2	1	0
7		浅井 菜葉	6	0	3	0	2	2	0
8		福島 かな	2	0	1	0	0	0	0
9	*	大森 彩乃	12	0	6	0	3	6	1
10	*	軸丸 ひかる	6	0	2	2	1	3	0
11		青木 有佳	2	0	1	0	0	0	0
12	*	細貝 野乃花	4	0	2	0	3	0	1
13	*	吉川 裕子	18	1	6	3	3	4	2
14		宮武 麻理	—	—	—	—	—	—	—
15	*	上田 穂の香	8	0	4	0	1	1	2
HC		西岡 大輔 / TEAM	—	—	—	—	—	—	—
		合計	64	3	25	5	16	18	7

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスからスタート。オフェンスでは、お互いスクリーンプレーを有効に使い、取り合いの展開に。準決勝にもさわしい見応えのあるゲームになる。22-19愛媛リードで終える。

第2ピリオドも白熱の展開に。開始2分、福岡県#6のドライブインからのカウントワンスローで、22-24と逆転し、福岡県のペースになる。愛媛県は、開始6分に#15の合わせてようやく第2ピリオド初得点。リズムを取り戻す。福岡県は、激しいディフェンスから、#4のカットイン、3Pなどで得点を重ねる。一方で、愛媛県の#10、#11のミドルシュートで対抗するも、32-35の福岡県リードで前半終了。

後半、愛媛県#6のシュートから始まる。愛媛県はオフェンスの動きがよくなり、シュートが決まり出す。開始6分で愛媛県が追いつき、ここから、一進一退の攻防を展開する。50-50で第3ピリオド終了。

第4ピリオド、愛媛県は#13のポストプレーで得点するものの、福岡県は4分過ぎに#7の連続3P、#10のインサイドシュートが決まり、80-70の10点差にリードを広げる。対する愛媛県はなかなかシュートが決まらず、リズムに乗れない。残り1分で愛媛県がオールコートプレスディフェンスで2度のスティールを成功させ、64-70の6点差に。ここで福岡県はタイムアウト。その後、福岡県の選手は落ち着いたボール運びで、愛媛県のディフェンスを交わし、64-72で福岡県が逃げ切り、勝利した。最後まで激しいディフェンスで、あきらめずプレーした愛媛県の健闘もたたえたい。

担当者: 真鍋 済希((一社)福井県バスケットボール協会) (公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

